平成25年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年８月６日

上 場 会 社 名	日機装株式会社		上場取引所　東
コ ー ド 番 号	6376		URL　http://www.nikkiso.co.jp
代　　表　　者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)甲斐　敏彦	
問合せ先責任者	(役職名)取締役経営企画部長	(氏名)西脇　章	(TEL)03(3443)3711
四半期報告書提出予定日	平成24年８月10日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

１．平成25年３月期第１四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年６月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第１四半期	20,867	17.9	573	155.6	262	―	△143	―
24年３月期第１四半期	17,700	△3.1	224	△36.2	△37	―	△182	―

（注）　包括利益　25年３月期第１四半期　257百万円(△22.6 %)　24年３月期第１四半期　332百万円(― %)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第１四半期	△1.86	―
24年３月期第１四半期	△2.31	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第１四半期	123,051	50,150	39.8
24年３月期	118,234	50,392	41.8

（参考）　自己資本　25年３月期第１四半期 49,029百万円　24年３月期 49,376百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	―	6.00	―	6.00	12.00
25年３月期	―				
25年３月期(予想)		6.00	―	6.00	12.00

（注）　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期(累計)	47,000	9.3	2,500	8.3	2,200	85.4	1,200	212.8	15.55
通期	97,000	7.6	7,000	6.4	6,500	2.0	3,800	14.6	49.25

（注）　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：　有
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
新規　１社（社名）創光科学㈱　　、除外　　社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　有
②　①以外の会計方針の変更　　：　無
③　会計上の見積りの変更　　：　有
④　修正再表示　　：　無

(注)第１四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P.4「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項」（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期１Ｑ	80,286,464株	24年3月期	80,286,464株
②　期末自己株式数	25年3月期１Ｑ	3,135,306株	24年3月期	3,133,216株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期１Ｑ	77,151,867株	24年3月期１Ｑ	79,265,140株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……P. 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……P. 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……P. 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……P. 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……P. 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……P. 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……P. 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……P. 4
３．四半期連結財務諸表 ……P. 5
（１）四半期連結貸借対照表 ……P. 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……P. 7
四半期連結損益計算書 ……P. 7
四半期連結包括利益計算書 ……P. 8
（３）継続企業の前提に関する注記 ……P. 9
（４）セグメント情報等 ……P. 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……P. 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期の当社グループの事業環境は、欧州債務危機の再燃、新興国の経済成長の鈍化や円高、株価低迷の長期化の影響などもあり、先行き不透明な状況が続きました。

このような中、工業部門では、ポンプの不採算案件の影響もありましたが、オイル＆ガス業界向けのLEWA製やLNG用のポンプ製品を中心に堅調に推移しました。医療部門では、本年１月に本格販売を開始した新型透析装置が順調に売上を伸ばし、業績に寄与しました。

この結果、受注高24,799百万円（対前年同期比11.9％増）、売上高20,867百万円（同17.9％増）と増収となり、利益面でも、円高による為替差損や株価低迷による保有株式の減損処理などがありましたが、営業利益573百万円（同155.6％増）、経常利益262百万円（前年同期は経常損失37百万円）、四半期純損失143百万円（前年同期は四半期純損失182百万円）となり、ほぼ計画どおりに推移しました。

◇セグメント別の状況

（単位:百万円）

		前第１四半期	当第１四半期	増減金額	増減率
受注高	工業部門	12,327	13,122	+795	+6.5%
	インダストリアル	10,159	10,469	+310	+3.1%
	精密機器	1,288	1,439	+150	+11.7%
	航空宇宙	879	1,213	+334	+38.0%
	医療部門	9,827	11,677	+1,849	+18.8%
	合計	22,155	24,799	+2,644	+11.9%
売上高	工業部門	8,639	10,237	+1,597	+18.5%
	インダストリアル	6,583	8,006	+1,423	+21.6%
	精密機器	1,173	1,015	△157	△13.5%
	航空宇宙	882	1,215	+332	+37.7%
	医療部門	9,060	10,630	+1,570	+17.3%
	合計	17,700	20,867	+3,167	+17.9%
セグメント利益	工業部門	394	234	△160	△40.7%
	医療部門	690	1,218	+527	+76.5%
	調整額	△860	△878	△18	―
	合計	224	573	+349	+155.6%

≪工業部門≫

工業部門は、その取扱製品により、インダストリアル事業本部、精密機器事業本部および航空宇宙事業本部の３事業本部に区分しています。

＜インダストリアル事業本部＞

ポンプ部門は、オイル＆ガス業界の活況が持続していることやクリーンエネルギー関連投資の活発化などを背景に、LEWAグループの業績が順調に推移しているほか国内外でLNG用ポンプの受注も好調でした。LEWAグループでは、受注の増加に伴う売上の確保に向け、懸案となっていた生産設備を増強しました。水質調整システム部門は、原子力発電所の稼働停止による影響はありましたが、高収益、高効率を急ぐ火力発電所向け案件などがあり売上高は増加しました。

この結果、インダストリアル事業本部の受注高は10,469百万円（対前年同期比3.1%増）、売上高は8,006百万円（同21.6%増）となりました。

＜精密機器事業本部＞

粉体計測機器は、国内市場は一部地域で設備投資に慎重な動きが見られますが、昨年11月に日本ベル㈱を買収したことにより、受注高、売上高はともに増加しました。電子部品製造装置は、電子部品市況の悪化を受け低迷していた受注に回復の兆しはあるものの受注高、売上高とも減少しました。

この結果、精密機器事業本部の受注高は1,439百万円（対前年同期比11.7%増）、売上高は1,015百万円（同13.5%減）となりました。

＜航空宇宙事業本部＞

航空機需要の堅調が続き、主力製品である逆噴射装置関連部品（カスケード、ブロッカードアなど）の出荷は静岡工場、ベトナム工場とも、ほぼ計画どおりに推移しました。新規製品の需要拡大に対応したベトナム工場の設備拡張も、今年末の完成に向け予定どおり進んでいます。

この結果、航空宇宙事業本部の受注高は1,213百万円（対前年同期比38.0%増）、売上高は1,215百万円（同37.7%増）となりました。

≪医療部門≫

＜メディカル事業本部＞

主力の国内透析装置は、本年１月から本格的に販売を開始した新型自動化対応装置が医療施設の省力化ニーズに応えて順調に売上を伸ばし、業績は大幅な改善傾向にあります。消耗品では血液回路が拡大する一方、ダイアライザーの販売は横這いとなっています。

海外では、円高の影響もあり南米や東南アジアでは低調でしたが、ドイツを中心とした欧州や中国では装置販売が概ね順調でした。なお、中国合弁会社における血液透析装置の生産、販売の認可取得は今秋になる見込みです。

この結果、メディカル事業本部の受注高は11,677百万円（対前年同期比18.8%増）、売上高は10,630百万円（同17.3%増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期末の資産合計は123,051百万円となり、前期末に比べて4,816百万円増加しています。現金及び預金や仕掛品の増加が主な要因です。

当第１四半期末の負債合計は72,900百万円となり、前期末に比べて5,058百万円増加しています。短期借入金の増加が主な要因です。

当第１四半期末の純資産合計は50,150百万円となり、前期末に比べて242百万円減少しています。利益剰余金の減少が主な要因です。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

対ユーロでの大幅な円高の進行や、世界経済減速の懸念などの不透明要因はありますが、当社グループの経営課題である事業のグローバル化や市場のニーズにあわせた技術・製品の開発、業務の効率化などの諸施策に対して引き続き着実に取り組んでまいります。

平成25年３月期の連結業績予想につきましては、平成24年５月７日に公表した予想数値から変更ありません。

※当社グループの業績は、工業部門を中心に９月と３月に納期が集中するため、第１四半期の業績は低調に推移する傾向があります。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第１四半期連結累計期間より、重要性が増したため、創光科学株式会社を連結の範囲に含めております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当社の税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による、当第１四半期連結累計期間の損益に与える影響は、軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,817	19,010
受取手形及び売掛金	30,434	27,901
商品及び製品	4,856	4,876
仕掛品	4,759	6,969
原材料及び貯蔵品	6,665	6,979
繰延税金資産	1,283	1,293
未収還付法人税等	―	50
その他	1,616	1,658
貸倒引当金	△461	△507
流動資産合計	62,971	68,232
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,289	10,460
機械装置及び運搬具（純額）	2,696	3,011
土地	4,081	4,133
リース資産（純額）	155	161
建設仮勘定	361	761
その他（純額）	1,348	1,321
有形固定資産合計	18,933	19,850
無形固定資産		
のれん	23,259	23,253
特許権	233	249
電話加入権	43	43
リース資産	48	79
その他	1,592	1,709
無形固定資産合計	25,176	25,334
投資その他の資産		
投資有価証券	9,518	8,020
長期貸付金	2	3
繰延税金資産	192	188
破産更生債権等	21	24
前払年金費用	349	291
その他	1,087	1,128
貸倒引当金	△20	△23
投資その他の資産合計	11,151	9,633
固定資産合計	55,262	54,818
資産合計	118,234	123,051

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,621	12,615
短期借入金	6,867	12,074
1年内償還予定の社債	6,000	6,000
1年内返済予定の長期借入金	4,046	4,740
リース債務	82	88
未払金	1,819	2,109
未払消費税等	143	77
未払法人税等	1,886	641
未払費用	1,275	1,501
賞与引当金	1,615	787
役員賞与引当金	47	11
設備関係支払手形	36	4
その他	2,042	3,011
流動負債合計	38,485	43,664
固定負債		
長期借入金	27,418	27,480
リース債務	129	161
繰延税金負債	1,155	876
退職給付引当金	368	434
役員退職慰労引当金	159	159
長期預り保証金	12	12
その他	110	110
固定負債合計	29,355	29,236
負債合計	67,841	72,900
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,544	6,544
資本剰余金	10,700	10,700
利益剰余金	34,619	34,013
自己株式	△2,276	△2,278
株主資本合計	49,587	48,979
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,658	1,154
為替換算調整勘定	△1,869	△1,104
その他の包括利益累計額合計	△210	49
少数株主持分	1,016	1,121
純資産合計	50,392	50,150
負債純資産合計	118,234	123,051

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
売上高	17,700	20,867
売上原価	11,691	14,183
売上総利益	6,008	6,684
販売費及び一般管理費	5,784	6,111
営業利益	224	573
営業外収益		
受取利息	8	13
受取配当金	135	136
持分法による投資利益	－	12
受取賃貸料	39	38
その他	74	99
営業外収益合計	257	301
営業外費用		
支払利息	183	214
持分法による投資損失	2	－
為替差損	267	382
その他	64	14
営業外費用合計	519	612
経常利益又は経常損失（△）	△37	262
特別利益		
固定資産売却益	19	32
特別利益合計	19	32
特別損失		
固定資産除却損	0	2
投資有価証券評価損	159	222
ゴルフ会員権評価損	－	2
システム移行関連費用	－	50
特別損失合計	160	277
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△178	18
法人税等	△51	102
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△127	△84
少数株主利益	55	59
四半期純損失（△）	△182	△143

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△127	△84
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	207	△504
為替換算調整勘定	224	800
持分法適用会社に対する持分相当額	27	46
その他の包括利益合計	459	341
四半期包括利益	332	257
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	259	117
少数株主に係る四半期包括利益	72	139

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント		合計	調整額(注)１	四半期連結損益計算書計上額(注)２
	工業部門	医療部門			
売上高					
外部顧客への売上高	8,639	9,060	17,700	―	17,700
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	8,639	9,060	17,700	―	17,700
セグメント利益	394	690	1,084	△860	224

（注）１　セグメント利益の調整額△860百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント		合計	調整額(注)１	四半期連結損益計算書計上額(注)２
	工業部門	医療部門			
売上高					
外部顧客への売上高	10,237	10,630	20,867	―	20,867
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	10,237	10,630	20,867	―	20,867
セグメント利益	234	1,218	1,452	△878	573

（注）１　セグメント利益の調整額△878百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。